

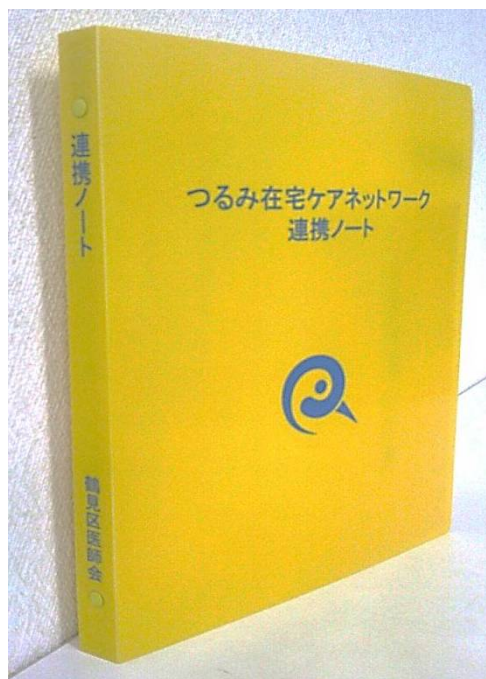
『連携ノート』の配布を しております。

つるみ在宅ケアネットワーク 推進検討委員会で発案された『連携ノート』は、鶴見区内にお住いの在宅療養者で、鶴見区医師会の先生が往診に入られている方へ主治医から直接お渡ししているノートです。これは、鶴見区医師会の在宅医療推進事業の一環として対象者の方へ無料で配布しております。

鶴見区にお住いの療養者の方が、**病状が悪化した時や緊急時、災害時など安心して医療が受けられ、少しでも早く元の生活に戻れることを目標に、ご自宅での様子や病状、お薬の情報、医療・介護で共有すべき事項などをファイリングできるようになっています。**自宅に保管し、ご自身で管理するマイカルテとして、自宅と病院とを結ぶ橋渡しとして『連携ノート』を活用していただいております。

在宅サービスの情報や共有すべき情報をファイリングしていただくと、利用者様に何かあった時、救急隊や病院等で役立てられるものと思います。

鶴見区にお住いの療養者が、安心して生活が送れるために、このノートを医療・介護の連携ノートとして是非、ご活用ください。



問合せ：つるみ在宅ケアネットワーク事務局

☎ 503-1289

連携ノートを使われた方からの声をご紹介します。

利用者)・何かあった時に使えるのは、嬉しい。無料で申し訳ない。

・実際、救急車を呼んだ時に、見てもらって病院に行った。

病院についてからも、スムーズに対応してもらった。

・緊急で病院に受診した時に、このノートを持っていったら、病院の先生が情報提供書を見て対応してくれた。安心だった。

・救急隊の方が、ノートを見てくれて「ノートがあって良かったね」と言っていた。嬉しかった。



訪問看護師)・利用者様が入院された時、入院中の検査結果や様子がわかり、病棟で行っていたケア内容が継続して行える。

・看護師の専門外来（フットケア）などで、看護師同士の連携をとるのに、活用できる。

歯科医師)・主治医との連携を図る上で、

検査結果や薬の情報が入って

いるので、非常に助かった。

医師)・歯科の治療の様子がわかり、良い。



など